

【研究課題名】胃 X 線造影検査におけるヘリコバクターピロリ胃炎コンピューター補助診断能の検討

【研究期間】承認日から 2017 年 3 月 31 日

【研究責任者】とくしま未来健康づくり機構 診療部 医長 青木利佳

【研究の目的】胃癌の原因菌であるヘリコバクターピロリ (Hp) 感染が起こると、胃は慢性胃炎の変化が起こる。胃 X 線検査においても胃粘膜表面構造と粘膜ひだの形状、分布によって Hp 未感染と感染を診断出来るが、同一のレベルで胃癌検診を行うためには、何らかの診断補助が必要と考えられる。現在、北海道大学を中心に、コンピューターによる胃炎診断補助システムが開発されているが、そのシステムと当院の受診者における実際の診断との比較を行いコンピューターのシステムの精度向上および有用性の検討を目的とする。

【研究の方法】当センターで胃 X 線造影検査画像、血清 Hp 抗体検査を行っている受診者に対し、人間が行っている実際の感染診断と、コンピューターによる胃炎診断補助システムとの比較を行い一致率をみてシステムの精度向上および有用性の検討を行う。

【倫理面】「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(2014 年 12 月 22 日告示) に従い、厳重な個人情報保護に留意する。本研究は、既存資料を用いたものであり、新たな侵襲は伴わず、また介入を行わない研究である。文書によるインフォームド・コンセントは受けないが、過去のデータをがん検診の精度向上に役立てるために用いる旨、拒否の機会の説明を含めて当機構のホームページに明記する。また、この研究は当施設および共同研究機関である北海道大学の倫理審査委員会の承認を得ている。

この研究を拒否する場合、またお問い合わせがありましたら、以下の連絡先へご紹介ください。

【問い合わせ先】

徳島市蔵本町 1 丁目 10 番地 3

とくしま未来健康づくり機構

TEL : 088-633-2266